



University of Miyazaki
Faculty of Engineering

体重が見えるメガネ“スカブター”



機械知能プログラム 教授

川末 紀功仁

出身：長崎県長崎市

趣味：猫と遊ぶこと。釣り。

講義：知能センシング、計測工学など

ひとこと

AIとIoT、最近よく聞くけど実際はどうなの？ CMで見
るけど空想じゃないの？ 宮崎大学で世界に誇る超ス
マートな未来社会をつくります！

研究内容

体重が見えるメガネ “スカ豚～（スカブター）”

3Dカメラを備えたARメガネで見るだけで体重がわかる装置

3Dカメラで撮影され
た豚の画像はPCに
送られて解析されま
す。AIで推定された
体重はAR眼鏡に表
示されます。マンガ
「ドラゴンボール」



のスカウターに似ていることから、スカブターと呼ばれています。

赤ちゃんへの応用（医工連携）

小さく産まれた赤ちゃんは非常にデリケート。保育器の外からスカブターを用いて保育
器内で眠る赤ちゃんの身体を測定します。小さな命を守ります。



骨格検出



部位の認識

この研究はどう役立つ？ 研究から学べることは？

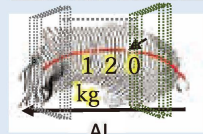
- ▶ 世界中で研究が進められているAI関連技術、他では真似ができない宮崎ならではのAI技術を開発！
- ▶ 畜産王国宮崎でしかできない研究を推進します。100kgを超える豚の体重を測るには、大変な労力が必要です。3DカメラとAIによって、簡単に体重がわかる装置が実現できます。
- ▶ 赤ちゃんの命を守ります。小さく産まれた赤ちゃんは、保育器の中で育てられるので身体測定も容易ではありません。保育器の外から撮影するだけで測定を行う技術を開発しています。
- ▶ AIを実現する構成が学べ、様々な分野に応用展開する知識が身につきます。



従来の体重計（豚衡機）
による測定



従来の手作業による測定
（保育器の中の赤ちゃんでは難しい）



AI



3DカメラとARグラスによる測定

最先端AI技術により、測定を自動化！